

インシデントレスポンスソリューション「マルウェアバスター」の販売を開始

～ マルウェア攻撃を素早く検知し 防御・対策・分析・予防をワンストップでご提供 ～

株式会社コア(本社:東京都世田谷区、代表取締役 社長執行役員 松浪 正信、以下コア)は、企業・組織そして社会の諸活動を脅かす標的型攻撃に代表されるマルウェア攻撃に迅速で適切な対応を行い、お客様の「安全」、「安心」をサポートするインシデントレスポンスソリューション「マルウェアバスター」の販売を開始します。

1. 「マルウェアバスター」の主な特長

- ① 素早く検知 マルウェア攻撃検知のアラート通報による迅速な初動対応
- ② 防御 完全振る舞い検知型のヒューリスティックエンジンで既知・未知に関わらずマルウェアを検知・防御
- ③ 対策・分析 感染経路分析により感染源と潜伏マルウェアを検出し、発見されたマルウェアを一括削除
- ④ 予防 IT資産の適切な状態管理による高いセキュリティレベルの維持

本ソリューションは、コアのIT資産管理ソフトウェア「ITAM」、キャノン電子株式会社の統合セキュリティソリューション「SML」、株式会社FFRIの標的型攻撃対策ソフトウェア「FFR yarai」の機能連携で構成されます。



侵入検知・防御

マルウェアを検知したタイミングで端末を防御



アラート通報・端末の特定

検知した端末、マルウェア潜伏の可能性のある端末の管理者・管理場所を把握



感染経路分析

侵入経路と共に、同じマルウェアが他の端末に潜んでいる可能性を分析

マルウェアとは

「悪意のある不正ソフトウェア」または「不正プログラム」とも呼ばれウイルス、ワーム、トロイの木馬、スパイウェア、悪質なアドウェアなど、不正かつ有害な動作を行う意図で作成された悪意のあるソフトウェアや悪質なコードの総称

インシデントレスポンスとは

コンピュータへのマルウェア攻撃や不正侵入等の事象(インシデント)に対応(レスポンス)すること
迅速な初動対応とそれを可能とする正確な状況把握と管理体制、運用ルールが重要とされている

News Release

2. 「マルウェアバスター」が提供する「安全」「安心」とは

- ① 3つの洗練された専門ソフトウェアのトライアングルでお客様の大切な情報をマルウェア攻撃から守ります。



- ② 日本初の国産ソフトウェアの連携だから提供できる、「安全」「安心」で充実したマルウェア攻撃対策を実現。

<本ソリューションと他社対策との比較>

	マルウェアバスター	他社対策ソフト	
マルウェア攻撃対策	既知のマルウェアの検知・検疫	○	○
	未知のマルウェアの検知・検疫	○	△
	マルウェアの感染経路の確認	○	×
	他端末の感染の可能性のチェック	○	×
	感染の可能性のある端末の検知・検疫	○	×
	端末の管理情報の把握 (設置場所・管理者)	○	×
	組織内の端末情報の把握(SW情報)	○	×
	リモートパッチ提供	○	×

販売開始日：2014年12月2日

News Release

■「SMLプレミアムスイート with FFR yarai」について

「SML プレミアムスイート with FFR yarai」は、キヤノン電子のPC用セキュリティソフト「SML(Security Management with Logging)」とFFRI社の標的型攻撃対策製品「FFR yarai」をシームレスに機能連携させた、次世代エンドポイントセキュリティ対策ソリューションです。

「FFR yarai」によるマルウェアの検知・防御だけでなく、SMLの「PC操作記録」機能と連携することで、検知したマルウェアがコンピュータにどうやって侵入してきたか、マルウェアの行動を逆探知し、経路を突き止める機能をご提供致します。これにより、システム管理者は自社がどのように外部攻撃を受けているか広い視点で認識し、より広範囲で効果的なセキュリティ対策を施すことができるようになります。

■キヤノン電子株式会社について

本社：東京都港区芝公園3-5-10

代表取締役社長：酒巻久

東証一部上場（コード番号 7739）

URL：<http://www.canon-elec.co.jp/index.html>

同社コメント

キヤノン電子株式会社は自社開発によるエンドポイントセキュリティソフト「SML」を中心に、PC操作履歴の記録技術の中核とした法人向けの内部漏えい・サイバー攻撃対策機能と業務分析サービスを提供してきました。「SMLプレミアムスイート with FFR yarai」では、先進のエンドポイントセキュリティ「FFR yarai」とのシームレスな連携を実現、近年問題化しているAPT（持続的標的型攻撃）対策機能を拡充しました。さらに、コア社「ITAM」が管理する資産情報と連携することで、マルウェア検知後のレスポンスをさらに向上しました。この度のコアとの協業により、コアの既存および新規のお客様に、より一層高度なセキュリティ対策をご提案できるようになることを期待しています。

■株式会社FFRIについて

本社：東京都渋谷区恵比寿1丁目18番18号 東急不動産恵比寿ビル4階

代表取締役社長：鵜飼裕司

東証マザーズ（コード番号 3692）

URL：<http://www.ffri.jp/index.htm>

株式会社FFRI 代表取締役社長 鵜飼裕司氏コメント

「インシデントレスポンスソリューション」のリリースを心より歓迎いたします。

FFRIはサイバー・セキュリティー領域における研究開発に注力しており、近年の高度に発展したマルウェアや脆弱性攻撃の脅威分析を日々行っております。

これらの活動から得られた知見を「インシデントレスポンスソリューション」に活用することで、マルウェアの防御、対策、分析、予防をワンストップで提供できるよう支援し、コンピューター社会の健全な運営に寄与してまいります。

News Release

■ 株式会社コアについて

1969年創業の東証1部上場企業。マイコンを搭載した組込み機器が社会に登場した草創期から組込みソフトウェア開発事業を開始し、またOA化や銀行のオンライン化が始まった当初からエンタープライズソフトウェア開発事業を手がけ、40年の経験と実績、豊富なエキスパート人材を数多く有しています。

近年は、マーケットアウト指向のSIサービス、豊富な製品、ソリューションサービスとともに、IoT（Internet of Things）の取組みとして組込みソフトウェアの技術や応用ノウハウを結実させたM2M（Machine to Machine）関連製品や2005年から事業を開始しているGNSS関連製品など、次世代に向けたソリューション提供に注力しております。

■ 投資家の皆様へ

本プレスリリースは、当社の定性的な業務進捗をお知らせするためのものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の業績・経営指標の進捗・予想に関しては、取引所開示情報である決算短信等をご参照ください。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

■ 本製品に関するお問い合わせ先
株式会社コア
プロダクトソリューションカンパニー
営業統括部
山崎、石井
TEL: 03-3795-5153
E-Mail: ns-info@core.co.jp

■ 報道関係のお問い合わせ先
株式会社コア
経営管理室
広報担当
荒井、鎌原
TEL: 03-3795-5111
E-Mail: coo-office@core.co.jp